

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
1	4	小泉 誠	<p>1. 下水道使用料について</p> <p>(1) 下水道使用料の現状について</p> <p>(2) 下水道使用料の見直しについて</p>	<p>ア 現在深谷市の下水道使用料の金額は、20㎡あたり月額3,520円となっている。令和3年度の資料だと、県内平均は約2,000円、2位の日高市でも2,761円。深谷市の下水道使用料は、県内で最も高額になっている。これに間違いはないか。</p> <p>ア 下水道事業会計の独立採算の原則のまま、現在の20㎡あたり月額3,520円を2,500円に値下げした場合、現在の公共下水と農業集落排水合計収益が約5億円の減収となると試算したが、値下げすることは可能か。</p> <p>イ 深谷市の平成25年～令和4年の過去10年間の財政状況を見ると、実質収支は平均34億6千万円、財政調整基金への積み立ては平均年8億円となっている。これらの指数をみても、市の財政状況が良好と判断できる。他の事業支出を削ることなく、毎年5億円程度を支出する余地はあるか。</p>
2	3	柿澤 祐介	<p>1. 自治会について</p> <p>(1) 自治会の加入促進について</p> <p>2. 市長と語る集いについて</p> <p>(1) 市長と語る集いについて</p> <p>3. 消防団について</p> <p>(1) 消防団の活性化について</p>	<p>ア 自治会への加入状況は。</p> <p>イ 深谷市内の市営住宅や新規住宅に転入された方へ、自治会への加入促進の取組は実施しているのか。</p> <p>ア 自治会連合会主催の市長と語る集いの意義について。</p> <p>ア 消防団の団員数が年々減少している現状を市はどのように認識しているのか。</p> <p>イ 平成25年12月に成立した消防団等充実強化法第14条に消防団の装備の充実、改善が必要であると定められ、本年で10年経過するが、本市における装備充実はどのように改善したか。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
3	15	清水 健一	<p>1. 誰一人取り残さない人に優しいデジタル社会の実現について</p> <p>(1) デジタル化の現状と今後について</p> <p>2. 渋沢栄一翁顕彰事業について</p> <p>(1) 新一万円札発行記念事業について</p> <p>(2) 渋沢栄一翁＝深谷市のイメージ確立について</p>	<p>ア 行政手続きのオンライン化の現状と今後について伺う。</p> <p>イ デジタルデバイド対策について聞きたい。</p> <p>ウ マイナンバーカードの利活用の促進について聞きたい。</p> <p>エ 子ども子育て政策でのデジタル化の推進について伺う。</p> <p>ア 予定されている事業の内容と実施時期について聞きたい。</p> <p>イ 一過性にならない工夫について伺う。</p> <p>ア 深谷から埼玉、そして全国発信を、どの様に行っていくのか聞きたい。</p> <p>イ 渋沢栄一翁を核とした地域経済の活性化に、どう結び付けて行くのか伺う。</p>
4	21	加藤 利江	<p>1. なぜ今、ACPが必要か。(ACPとは人生会議)</p> <p>(1) なぜ今、ACPが必要か。(ACPとは人生会議)</p> <p>2. スポーツ少年団について</p> <p>(1) スポーツ少年団の球技チームについて</p>	<p>ア ACPは自分のためでもあり、残される家族のためにも大変重要な事だと思う。人生100年時代と言われるようになり、「元気で長生き」が理想だが、残念ながらやがていつかは、皆人生の終焉となる。その時に自分らしい幕引きを迎えるために繰り返し話し合いをしておくことが大変重要だと思うが。</p> <p>ア 現在の球技種目は何か教えてほしい。</p> <p>イ それぞれの種目は何チームあるのか。</p> <p>ウ 保護者の方はどのような形で協力しているのか。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
5	16	田口 英夫	<p>1. 深谷市の環境施策について</p> <p>(1) ゼロカーボンシティふかや宣言について</p> <p>2. 多文化共生の推進について</p> <p>(1) これまでの取組について</p> <p>(2) ゴミの出し方の周知について</p> <p>(3) 外国人住民への各種の情報提供について</p>	<p>ア 令和3年1月に「ゼロカーボンシティふかや」を宣言してから3年が経過したが、これまでにどのような具体的な取組や市民への周知・啓発をしてきたのか。</p> <p>イ 公共施設の電力使用量の削減に向けた具体的な取組は、どのようにしているのか。</p> <p>ア 深谷市も多文化共生のまちづくりに取り組んでいると思うが、これまでの取組はどのようなものがあったか。</p> <p>ア 外国人住民の方々へ、ごみを集積所等へ出すときの分け方、出し方についてどのように周知しているのか。</p> <p>ア 外国人住民の方々理解できるような、「やさしい日本語」を使ったパンフレットや掲示板を作成してはどうか。</p>
6	23	永田 勝彦	<p>1. 川本農産物直売所「道の駅かわもと」北側へ拡張を望む</p> <p>(1) 川本農産物直売所「道の駅かわもと」北側へ拡張を望む</p>	<p>ア 川本直売所の拡張を希む。現施設の北側を買収し、建物構築を勧めて戴き度い。此の事に依り（売場面積拡張）、農産品の拡販が図れる。更には農業の担い手が現れる。（農家の定年離（＝退職者）職者等々）この事実により、遊休農地の解消に繋がる。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
7	2	岡 仁	1. 友好都市について (1) 友好都市となる条件について  2. 市街化調整区域について (1) 市街化調整区域の活性化について	ア 岩手県田野畑村や、静岡県藤枝市（旧岡部町）はどのような経緯で友好都市となっているのか伺う。  イ 先日宮崎県高千穂町へ会派の視察研修で訪問した。その街には高千穂神社があり、畠山重忠公が植樹した杉の木が大切に保存されていた。高千穂町との友好都市締結の考えについて伺う。  ア 川本南地区はお店が少なくなっている。このような地域を活性化させるために人口や店舗を増やさなければならない。市街化調整区域に住宅や店舗を建たせるための条件を伺う。
8	12	山出 秀明	1. 地域通貨ネギーについて (1) 地域通貨ネギーの取扱店の拡張について  2. 「ふかや緑の王国」について (1) 「ふかや緑の王国」について	ア 地域通貨ネギーの取扱店についてアウトレット花園のテナント等で利用できるように積極的に働きかけできないか。  ア 「ふかや緑の王国」について休憩所、トイレ、案内掲示板等リニューアルをできないか。

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
9	13	坂本 博	<p>1. 本市における災害の対応について</p> <p>(1) 上下水道について</p> <p>(2) 建物の耐震化について</p> <p>(3) 障害がある方のための本市の準備状況等について</p>	<p>ア 本市における上下水道の総延長は、それぞれ何kmか。</p> <p>イ それぞれについて、法定耐用年数を超過しているのは何kmで、総延長に対して何%か。</p> <p>ウ 耐震化が完了しているのは何kmで何%か。また、震度いくつまで耐えられる設計なのか。</p> <p>エ 耐震化について、今後の計画はどのようになっているのか。</p> <p>ア 深谷市内の建物全体に対して、耐震化が出来ている建物は何%か。</p> <p>イ 市民に耐震化を促すための対策はあるか。</p> <p>ア 避難所において、障害の特性に応じた準備はしているのか。</p> <p>イ 福祉避難所について、障害のある方は最初からそちらへ避難するよう案内をしているのか。</p> <p>ウ 本市では、災害時等要援護者名簿登録制度があるが、障害のある方は、何人登録をしているのか。</p> <p>エ 現在、本市では「災害時要援護者のための防災マニュアル」が作成されているが、障害のある方のために特化した「防災マニュアル」を作成することを提案するが本市の見解は。</p>
10	14	繫 由香	<p>1. がん患者支援について</p> <p>(1) 相談窓口の設置について</p> <p>(2) 補助具に対するの助成について</p> <p>2. SDGsの観点から</p> <p>(1) 学生服のリサイクルについて</p>	<p>ア 県内には国指定、県指定の病院にて、がん患者が抱える不安や、治療と仕事の両立などに悩む方に対しての相談窓口がある。身近に相談できるサポート窓口が市にも必要だと思うが、市では現在、がん患者に対しての相談窓口はあるのか。</p> <p>ア 抗がん剤などの治療により起こる外見の変化に対して、補助具を購入される方への助成は。</p> <p>ア 卒業と同時に使用しなくなった学生服を回収し、必要とする家庭にリユースしてはどうか。SDGsの観点からも、耐久性にも優れている制服を3年で処分してしまうのはエコでは無いと考えるが市の見解は。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
11	22	五間 くみ子	<p>1. こども館について</p> <p>(1) こども館建設について</p> <p>(2) 「児童館ガイドライン」(平成30年版)を参酌とのことについて</p> <p>2. 高齢者の肺炎予防について</p> <p>(1) 高齢者の肺炎による影響について</p> <p>(2) 予防接種の接種状況について</p> <p>(3) R S ウイルス感染症について</p>	<p>ア こども館を公の施設と位置付ける理由と児童福祉法に定める児童厚生施設に準じた施設と位置付けることによる影響は。</p> <p>イ こども館を建設することによる本市の子ども・子育て施策にもたらすメリットは。</p> <p>ア 児童館の特性(拠点性・多機能性・地域性)が明示されたことで、子どもの居場所となり得る「児童の遊びを指導する者」の配置と、こども館の職員体制は。</p> <p>イ 日々の活動や運営だけでなく、子どもや子育て家庭が抱える課題を発見、支援していくために、人材育成は必須。研修体制やあり方は。</p> <p>ウ 配慮を必要とする子どもへの支援や対応、インクルーシブ遊具の設置等は。</p> <p>ア 本市における高齢者の肺炎による入院の現状は。</p> <p>イ 高齢者の肺炎による介護への影響について、市としてどのように捉えているか。</p> <p>ア 高齢者の肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ、新型コロナの各ワクチンの公費助成の内容と接種状況は。</p> <p>イ 本年3月31日をもって、肺炎球菌ワクチンの定期接種の経過措置が終了する。市行政措置予防接種も同様に終了と市ホームページにあるが、継続の検討はできないか。</p> <p>ア R S ウイルス感染症の周知と感染予防への注意喚起を行うことは。</p> <p>イ 高齢者へのR S ウイルスワクチンの接種費用の一部助成の検討を。</p>
12	5	佐久間 奈々	<p>1. こども誰でも通園制度について</p> <p>(1) こども誰でも通園制度について</p>	<p>ア 現時点での制度の概要について伺う。</p> <p>イ 「自由利用」では、空きがあれば全国どの施設でも利用可能となるとのことである。しかし、保育施設における死亡事故の実態を考えると、この「自由利用」で子どもの安全を守れるか疑問であるが市の見解を伺う。また、本制度を行う事業者は市が指定する仕組みになることが想定されている。本格実施の際は、子どもの安全を最優先にし、十分に安全が保障される事業者に限定することを求めるがどうか。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
13	6	鈴木 三男	<p>1. 会計年度任用職員について (1) 会計年度任用職員の待遇改善を</p> <p>2. 震災対策について (1) 震災対策の見直しを</p> <p>(2) 水道・下水道の震災対策の推進を</p>	<p>ア 令和2年度より非常勤の地方公務員として創設された会計年度任用職員は、常勤職員との勤務時間が1日15分短いだけで、パート（第1号、1週間当たり38時間45分未満の範囲内の勤務時間）扱いとなっているが、「適切な勤務時間の設定」にするようにとの総務省通知による待遇の改善をすべきではないか。</p> <p>イ 会計年度任用職員の賃金についても、正規の職員と同様に、昨年4月にさかのぼって引き上げるようにとの総務省の通知があり、遡及改定されている自治体もあるとのことだが、深谷市の会計年度任用職員の賃金は、引き上げられたのか。</p> <p>ア 元旦に能登半島地震が発生し、甚大な被害に見舞われた。想定外の被害で、自治体の職員も被災するなど、被害状況に応じた対応ができなかったとの報道がある。深谷市は深谷断層帯の中にあり、大きな地震の可能性もある。令和4年2月策定の地域防災計画の中に震災対策計画があるが、能登半島地震を教訓に、深谷市の震災対策の見直しが必要ではないか。</p> <p>ア 能登半島地震で被害の大きかった市町で水道・下水道管の仮復旧などが遅れ、洗濯などの生活用水が無いので大変困っているとの報道がある。市内の水道管や下水道管の耐震化の現状はどうか。また、その程度の地震まで、対応できているのか。</p>
14	7	福島 秀樹	<p>1. 住宅用火災警報器について (1) 住宅用火災警報器の設置について</p> <p>2. ゼロカーボンシティふかや宣言について (1) 深谷市の取組について</p>	<p>ア 深谷市の住宅用火災警報器の設置状況について伺いたい。</p> <p>イ 住宅用火災警報器の取り付けや電池交換などの作業が困難な高齢者世帯に対し、消防職員が取り付け作業などのサポートを無償で実施しているところもあるが、本市では実施する予定はあるのか伺いたい。</p> <p>ア ゼロカーボンシティふかや宣言から3年が経過したが、今までの取組について伺いたい。</p> <p>イ 2030年までに二酸化炭素排出量を46%、削減目標を掲げているが、現状どの程度削減できているのか伺いたい。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
15	1	田島 秀興	<p>1. 本市の環境対策について</p> <p>(1) 資源ごみについて</p> <p>(2) 自然環境・生態系の保全について</p> <p>(3) 希少生物の保全・保護について</p> <p>(4) 森林環境譲与税について</p> <p>(5) 農地と生態系保全について</p>	<p>ア 資源ごみの品目を現状から増やすことは可能かどうか。</p> <p>イ 酒造業界では瓶が不足している。地元酒造会社でも「4合瓶のリユースができれば」という声が出ている。拠点収集の場合を含め、酒瓶などのリユースができるものの収集は可能かどうか。</p> <p>ア 本市では自然環境や生態系の保全に関して、どのような取組をしているか。</p> <p>ア 本市には、埼玉県レッドデータブックにおいて絶滅危惧・準絶滅危惧の種が複数種生息しているが、生態系保全、希少生物保護への取組を何か考えているか。</p> <p>ア 森林環境譲与税について、本市ではどのように活用しているか。</p> <p>ア 耕作放棄地や植木などが長年植生している農地が希少生物にとって重要な生息地となっている場合、農地の適正利用と希少生物の保護をどのように考えるか。</p>
16	17	角田 義徳	<p>1. 農業振興について</p> <p>(1) 農産物のPRイベントについて</p> <p>2. 公共施設適正配置について</p> <p>(1) 廃止した公共施設の管理について</p>	<p>ア 2012年に民間主催でスタートした深谷ねぎまつり。本年1月28日開催のイベントは実行委員会発表で約2万人の来客があり大盛況だった反面、交通渋滞が酷く来場者にも市民にも迷惑がかかってしまった。このまつりがここまで成長したことに感謝しつつ、現在の来客数とそれに対するスタッフ不足を鑑み、今後は市として関与を深めていくつもりはないか伺う。</p> <p>イ 2010年当時の全国ねぎサミット立ち上げ時の様子と、現在までの軌跡を時系列で詳細に聞きたい。</p> <p>ウ 市民の機運を盛り上げるため、より一層のPRのために全国ブロッコリーサミットを企画しては如何か。</p> <p>ア 旧岡部公民館、老人福祉センター岡部荘の施設解体はいつ行うのか。解体後は岡部中央公園などの駐車場になると伺っているが、その後の当該地の有効利用についてどのような考えがあるか聞きたい。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
17	10	八須 由憲	<p>1. 渋沢栄一翁の顕彰と地域の活性化について</p> <p>(1) 新一万円札発行について</p> <p>(2) 地域の活性化について</p> <p>2. 台風等の水害時の避難について</p> <p>(1) ペット同伴避難所の開設について</p> <p>(2) 東日本台風での避難状況と今後の対策について</p>	<p>ア 令和6年7月3日、渋沢栄一翁肖像画の新一万円が発行される。この時期に合わせた祝賀イベントの計画について聞きたい。</p> <p>ア 栄一翁関連のオリジナルグッズや書籍、見学に訪れた方の土産などを、栄一翁に関する施設やコンビニ等で販売できないか。</p> <p>イ 公式ブイチューバー「深谷栄一」の配信時間と制作後の反響や効果を聞きたい。</p> <p>ア 令和元年東日本台風（台風第19号）で本市初となる避難勧告、避難指示（10月12日）が発令された。ペット同伴の家族は避難所室内には入れず、駐車場で一夜を過ごした事を聞いた。現在、空き家となっている旧岡部公民館をペット同伴専用避難所、又は一時避難所として開設できないか、市の見解を伺う。</p> <p>ア 東日本台風で避難指示を発令した地区を聞きたい。</p> <p>イ 開設した避難所の施設名、避難した人数を聞きたい。</p> <p>ウ 洪水災害時の各避難所の収容可能人数は把握しているのか。</p> <p>エ 洪水対策等で、最初にするべきことは何か。市の見解を伺う。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
18	20	村川 徳浩	<p>1. 花園消防署の分署化について (1) 分署化による消防力の低下について</p> <p>2. 深谷ねぎまつりについて (1) 深谷ねぎまつりの評価について</p>	<p>ア 花園消防署が分署化し、指揮隊及び特別救助隊が無くなった場合、荒川の水難事故、関越自動車道の交通事故救助事案、山岳救助事故にはどのように対応するのか。新しい体制で迅速に対応できるのか。</p> <p>イ 平成18年の旧深谷地区消防本部と旧寄居地区消防本部の合併後、地域実情にあわせ、花園消防署には水難・山岳資機材の集約を行ってきた経緯があると聞いているが、分署化した後は資機材の配置はどうなるのか。</p> <p>ウ 消防隊にオレンジ色の救助服を着せ、特別救助隊と同等に扱うとのことだが、どのような位置づけになるのか。法的根拠や前例は有るのか。</p> <p>エ 消防事務を深谷市に委託している寄居町とは、どのような協議がなされたのか。消防力低下を懸念した意見や反対意見はなかったのか。</p> <p>ア 1月28日にパティオで開催された深谷ねぎまつりは、県内外から2万人を超える来場客が有り、大盛況だったが、周辺では大渋滞が起こってしまった。埼玉新聞のコラムでも、行政のバックアップが必要ではとの意見が寄せられている。市はどう評価しているのか。</p> <p>イ 観光客の市内回遊、ふるさと納税の返礼品としての深谷ねぎのPRといった、深谷市が掲げている行政課題の解決に、もっとねぎまつりを活用・連携すべきではないか。</p>
19	9	湯本 哲昭	<p>1. 市民の健康管理について (1) 特定健康診査等の現状について</p> <p>(2) がん検診の現状について</p> <p>(3) 市民の健康増進事業について</p>	<p>ア 現在行われている健診の現状について。</p> <p>イ 健診データのデータベース化の現状は。</p> <p>ウ 今後、考えられる事業は。</p> <p>ア 現在行われているがん検診の現状について。</p> <p>ア 「ためるんピックふかや」の活動状況と成果について。</p> <p>イ 健康づくり応援事業にはどんな事業が有り、実態はどうか。</p> <p>ウ 活動を通して得られたデータの活用状況は。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
20	11	小林 真	<p>1. 市民が主体のばらつきのある社会教育のために</p> <p>(1) 公民館自主事業での民間との協働は</p> <p>(2) 公民館利用で非営利・営利の基準は</p> <p>(3) 宗教に関する理由で公民館が利用できないことは</p> <p>(4) 政治に関する理由で公民館が利用できないことは</p> <p>(5) 公民館ほか公共施設での広告物配置の基準は</p> <p>2. 政治と市民のより豊かな関係性のために</p> <p>(1) 市内学校での主権者教育の現状は</p> <p>(2) 社会教育での主権者教育のあり方は</p>	<p>ア 令和7年度からの公民館指定管理者制度の導入により、民間企業との積極的な協力でより質の高い事業展開をめざすという。民間のノウハウ活用は期待したいが、現状ではどんな協働が行われているか。</p> <p>ア 非営利・営利の判定は難しい。令和4年度からの公民館営利利用開始以来、どんな基準で運営されてきたか。</p> <p>ア 生活スタイルの多様化で、従来の宗教観におさまらない精神世界にはたらきかける占いやスピリチュアルなどの活動がさかんになっている。過去2年で宗教に関する理由で公民館が利用できない事例はあったか。</p> <p>ア さいたま市の九条俳句訴訟事件など、社会教育と表現の自由をめぐる問題の歴史は長い。過去2年で政治に関する理由で公民館が利用できないなどの事例はあったか。</p> <p>ア 公民館など市内の公共施設に広告物の配置を依頼して断られたという話をきく。共通の基準はあるか。</p> <p>ア 選挙での低投票率が続く中、小中学校での適切な主権者教育は重要だろう。主権者意識を高めるためには、学習指導要領のいう「主体的・対話的で深い学び」が欠かせないが、どんな取組をしているのか。</p> <p>イ そういった学びの大きな力になるコミュニケーション能力向上への取組は。</p> <p>ア 主権者教育の試みは成人に対してがより重要と思うが、冊子などで投票を呼びかけるほか眼にすることが少ない。社会教育での主権者教育への考えをききたい。</p> <p>イ コミュニケーション能力向上のための学習は社会教育の分野でも重要性は変わらない。成人を対象としてどんな取組をしているか。</p>

# 市政一般質問通告一覧表

令和6年 深谷市議会 第1回定例会

通告番号	議席番号	氏名	質問事項	質問要旨
21	24	高田 博之	<p>1. 重要土地等調査法について                      (1) 土地等利用状況審議会に提示した候補地の中に深谷市も入っている</p> <p>2. 指定野菜について (ブロッコリー)                      (1) 特定野菜として実績はどうか                      (2) 指定野菜価格安定対策事業への取組は</p> <p>3. 商標登録について                      (1) 深谷ねぎという商標登録はしていないがなぜか</p>	<p>ア 深谷市・熊谷市とも提示されている。今後市のとるべき対応について伺う。</p> <p>イ 市民への周知は。</p> <p>ウ 深谷市への影響は。</p> <p>ア 深谷市としての取組はどうだったのか。</p> <p>ア 指定された時の具体的な取組は。</p> <p>イ 深谷市の最重要野菜となっているブロッコリーの深谷市としての今後の戦略を聞きたい。</p> <p>ア ねぎサミットが昨年の秋実施された。出展ブースの中に商標登録をしたという産地があった。深谷ねぎの商標登録を強く望む。</p> <p>イ 深谷市に対する全国からの注目を一万円新札に留まらずチャンスと捉え「農業王国」の確立に一層力を傾注すべきであると考えているがその決意は。</p>